

総務常任委員会

平成28年度幸手市一般会
計歳入歳出決算の認定
(議案第41号)

問 財産売却収入の1037万5517円の内容は。

答 公衆用道路として払い下げたものが2件、用悪水路として払い下げたものが2件、九郎右エ門の集会所の土地の払い下げ(2カ年にわたり、平成27年度分が156万円、28年度分が68万175円、合わせて224万175円)1件の合計5件である。

問 法人市民税の減額理由は。

答 平成28年度調定額が3億6481万4400円、27年度の調定額が4億385万1千円、差額の3903万6600円が減額となっている。

これは、1法人が平成27年度に5カ年分、約5千万円近くの修正をしたので、27年度に5千万円近くの調定が上がってしまった。

問 ストレスチェック業務委託料の内容・成果・結果は。

答 初めて実施したもので、労働安全衛生法が平成26年に改正、27年12月に施行され、事業者がストレスチェックを1年間にやりなさいと義務付けられ、実施したものとストレスチェックの紙で、全てで82項目の調査票をつくる。415人の職員に配布し、回収できたのは382人。やるやらないは法律上任意である。結果、職場内のストレス度については低い方向に、仕事の量的負担については全国平均レベル、同僚・上司の支援についてはいいほうに上回り、職場内のいきいき度は若干よろしくなかったというような結果である。ストレスがかなり重い人については、医者への橋渡し、いわゆる心療内科専門医への橋渡し、この法律の中でもフローの中に入っている。

幸手市税条例等の一部を
改正する条例
(議案第49号)

問 わがまち特例の概要は。

答 これから設置管理すれば対象となる。緑化地域または緑化重点地区内の土地に市民緑地をつくれ、固定資産税の課税標準を3分の2にするというもの。現時点ではない。

平成29年度幸手市一般会
計補正予算(第1号)
(議案第55号)

問 土木費国庫補助金の道路橋りよう費、都市計画費、都市整備費の減額理由は。

答 社会資本整備総合交付金で、それぞれの交付金の内示があり減額するもの。

道路橋りよう費の補助金958万3千円の内訳は3事業あり、市道1-2号線の舗装工事は、当初1140万円を見込み、内示に基づき400万円となり、740万円の減額。次に橋りようの維持事

業として1178万1千円の交付を見込み、内示後959万8千円で218万3千円の減額。そして古川橋の架替事業は、補助金額7373万1千円で補正変更なし。

都市計画費補助金は、1500万円の見込みが、1千万円の採択がされ500万円の減額。

都市整備費補助金は、駅舎・自由通路の社会資本整備総合交付金になり、4億2905万3千円を見込んだが、内示により3406万5千円を減額し、3億9498万8千円とするものである。

問 地方創生推進費の製造業者実態調査業務委託料の内容は。

答 内閣府において、地方創生推進交付金の29年度2回目の募集があり、2事業提案申請しているところである。その一つが幸手市誇れる仕事・人材育成プロジェクトという事業で、この事業の一つとして製造業者実態調査業務委託料がある。これは実態調査により、市内の小規模ながら、高水準の技術や広範なシェアを有する中小企業を掘り起こし、紹介していく冊子をつくっていくもので、掲載される事業者は30事業者程度の見込みであり、その委託料である。



文教厚生常任委員会

平成28年度幸手市一般会 計歳入歳出決算の認定 (議案第41号)

問 デマンド交通は、予約の電話を入れても、いっぱいだと断られることが多いのに、二人くらいしか乗っていないが、その原因は。

答 デマンド交通は、市域全体をエリアにしており、迎えから目的地に送るまでを一時間で完結させなければならぬため、そのような状況になっており、さらに乗合率を上げる方法を検討している。



幸手市デマンド交通車両『さっちゃん号』

問 生活困窮者自立支援事業の相談件数が66件だったが、評価は。

答 この事業は社会福祉協議会に委託し、相談員が2人配置されている。窓口での相談で完結することとは、ほとんどなく、相談員が向いて一緒に仕事を探すなど、自立支援のための活動を行っている。66件は相談の回数ではなく、相談の対象件数である。

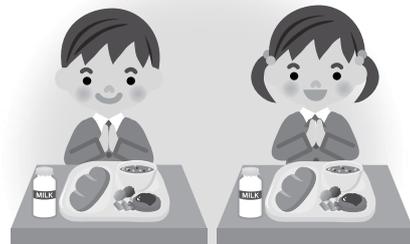
問 骨粗しょう症検診の受診状況と、今後の取り組みは。

答 現在は40歳以上の人を対象に、5歳刻みで実施しているが、寝たきり率や、医療費を抑制するには、骨粗しょう症を含めた介護予防策が重要なので、検診対象者の拡大を検討している。

問 学校給食調理業務におけるアレルギー対策は、どのように行われているのか。

答 あらかじめ生活相談票などを提出してもらい、面談を行いながら、どの程度まで摂取可能かも

しくは全て除去するかなど、個別の対応を講じている。



平成28年度幸手市介護保険 特別会計歳入歳出決算 の認定 (議案第44号)

問 要介護(要支援)認定者のうち、要介護2・要介護3の人が特
に増えている理由は。

答 75歳以上の後期高齢者が多くなることで、要介護認定者も増えていくが、疾患や疾病、けがなどによって、要介護になる人は、中
度の区分になるケースが多い。く
わしい分析はこれからだが、今後
も要介護2や要介護3の人が増え
ていくのではないかと考えている。

平成29年度幸手市一般会 計補正予算 (第1号) (議案第55号)

問 アクティブシニア社会参加支
援業務委託料を減額した理由は。

答 この事業は埼玉県のアクティ
ブシニアの社会参加支援事業補助
金を受けて実施しているが、今年
度申請した事業のうち、県から福
祉の色合いが強く、補助対象とし
ては難しいと指摘された事業につ
いて、委託事業者と協議を行い、
今回は県の補助を受けないことにな
ったため、その予算分を減額し
たものである。

問 障がい福祉支援費の訓練等給
付費を増額した理由は。

答 訓練等給付費は障がい者の福
祉サービスのうち、自立訓練、就
労移行訓練、就労継続支援、共同
生活援助というメニューから給付
している。市内外にサービス事業
者が増え、利用しやすくなったこ
とや、就労支援を希望する人が増
えていることにより、給付が伸び
ているため、予算を増額したもの
である。

建設経済常任委員会

平成28年度幸手市一般会計 歳入歳出決算の認定 (議案第41号)

問 特産品幸手ブランド販売促進委託料の事業の成果はどのように評価されるか。

答 具体的な評価数値ということでは難しいが、作付面積の増加、基本的にはさくらファームといったJAの直売所での販売量などではかっていきたい。

問 中島用悪水路土地改良区へのかんがい排水事業補助金の内訳について。

答 平成28年度において、国、県の補助事業に対して市の要綱で定める以上の割合で補助金を支出した事業が判明したので、過分に交付した補助金がある場合は当該土地改良区との協議を踏まえ、補助金の返還など対応していく。

問 水位観測システムの内容は。

答 第一ポンプ場のところで内水と外水を測っているシステムで基本的には10分間隔で観測し、内水については6.5メートル、外水は7.2メートルから毎分4回の観測を設定している。

平成28年度幸手市農業集 落排水事業特別会計歳入 歳出決算の認定 (議案第45号)

問 農業集落排水事業の加入率は。

答 人口の割合でいきますと、接続しているもので接続率は85・31%である。

平成28年度幸手市公共下 水道事業特別会計歳入歳 出決算の認定 (議案第46号)

問 東さくら通り下の本管から幸手団地のポンプ場までの中継ポンプ場改善の進捗状況は。

答 平成28年度決算において、ポンプ場設備設計業務委託料291万6千円で更新の実施設計を行っている。

平成28年度幸手市幸手駅 西口土地区画整理事業特 別会計歳入歳出決算の認 定 (議案第47号)

問 西口の駅前広場からの停車場線が途中で切れるが、接続はどの様になるのか。

答 平成31年3月に駅舎が開設しますので、現在の県道幸手・久喜線の手押しボタン信号がある市道これが9メートルの区画道路となり、こちらから18メートルの都市計画道路の停車場線を接続することとなる。

市道路線の認定 (議案第52号)

問 東中学校用地の拡張に伴い築造した道路を認定する理由は。

答 東中学校の校庭拡張工事が平成2年度に実施された。資料関係を整理したところ、手続きが漏れ

ていたことが分かり提案した。

平成29年度幸手市一般会 計補正予算 (第1号) (議案第55号)

問 多面的機能支援事業補助金の補正理由は。

答 昨年度から活動している4組織のうち2組織について補助要件の面積が拡大したことと新規の活動組織が1組織ができ、補助金が増加したことが補正の理由である。

平成29年度幸手市幸手駅 西口土地区画整理事業特 別会計補正予算 (第1号) (議案第61号)

問 道路・宅地整地実施設計業務委託料の内容は。

答 西口停車場線までの実施設計が終わっている。その延長として、西口停車場線の先に杉戸、幸手、栗橋線があり、こちらの実施設計が済んでおらず、次のステップとして計上した。